

ブログはなぜ炎上するのか？

ここは第一高校の職員室。イトウ先生は何やら深刻な顔をしています…。



マスタ先生、相談させていただきたいことがあるんです…。



はい、なんでしょう？

イトウ：うちのクラスの生徒の中に、最近ブログをはじめた者がいるんですが、そのブログが炎上しているんですよ。何とかしてやりたいんですが、炎上って実はどういうことなのかよくわからなくて…。コメントがたくさんつくことですか？

マスタ：「**ブログ炎上**」とは、**ブログのコメント欄に批判・誹謗中傷の書き込みが殺到すること**ですよ。そのブログのアドレスがわかりますか？

イトウ：これです。行列に割り込みしたと書いて、批判が殺到しています。

2009年8月14日

遊園地で大はしゃぎ♪

今日は朝から高校の友達とシルランドに行ってきたよ！一番人気のジェットコースターはすごい行列だったけど、気弱そうな人を見つけて、その人の前に割り込んだら笑った(笑) また行きたいな～！

この記事へのコメント

- 1. USJ… 2009年8月15日
こういうことはあんまり書かない方がいいよ。
- 2. 名無し… 2009年8月15日
最低！常識ないやつはシルランド行くな
- 3. 名無し… 2009年8月15日
バカ発見♪
- 4. ランド… 2009年8月15日
朝からシルランドってことは第一高校？
- 5. しい… 2009年8月15日
自分が同じことされたらどう思うの？
- 6. 名無し… 2009年8月15日
噂のブログはここですか～。確かにアホですな

ブログが炎上すると、騒ぎによって誹謗・中傷をおこなう者、個人情報を探ろうとする者もあらわれることがある。

マスタ：迷惑行為はすべきでないし、ましてやブログに書くべきではありませんね。多くの方はブログを友達に話す感覚で気軽に書いていて、失言をしてしまうようですが、事の大きさによっては、本人が社会的制裁を受け、責任者が謝罪しなければならないこともあるんですよ。

イトウ：うちの生徒がブログで問題発言をしたことで、校長先生が謝罪する事態もありうるということですね。怖いなあ。この生徒にきちんと指導しておきます。ほかのブログが炎上するのも、この生徒と同じような理由からですか？

マスタ：炎上するにはいろいろな理由がありますが、多いのは「犯罪・迷惑行為の自慢」「失言」「微妙な問題について片側からの断定的な意見を述べる」などですね。

イトウ：ブログが全世界に公開されていることを忘れないようにしないとイケませんね。書く内容に注意したうえでブログを炎上させないためには、どうしたらいいんでしょうか？

マスタ：ブログにコメント欄を設けないという手段は有効ですね。ただ、コメント欄での訪問者との交流がブログの醍醐味でもあるので、それが無いのは寂しいかもしれません。また、ブログ自体にコメント欄がなくても、問題の文章が2ちゃんねるなどの巨大掲示板に転載されて、そこでブログ炎上と同じ状態(=祭り)になる可能性はあります。

イトウ：ブログを炎上させないためには、そもそもブログを書かないのが一番かもしれませんね(笑)。気軽にはじめられるのがブログの利点の1つですが、情報モラルをきちんと学んで、ネット社会で適切に振舞う自信がつき、炎上にも対処する覚悟をもってからはじめた方がよさそうですね。



主な炎上理由と実際にあった例

※例はプライバシーに配慮して内容を一部改変しています。

犯罪自慢 犯罪・暴力行為、モラルに反する行為などを自慢げに書く。

例：大学生が、自分と事故を起こしかけた車の運転手に土下座させ、車のパーツを破壊したと書いた。
例：高校生が、ゲームを違法にダウンロードし、友人にも配ったと書いた。

不適切な発言 自分と立場の違う人を見下すなど、他人を不愉快にさせる発言などをする。

例：評論家が、居酒屋で知り合った期間労働者について「彼らは自分の勤めている会社名を漢字で書けるのか」と書いた。
例：学生が、インドのホームレスの子どもに対して「こじきのくせに（食べ物を受け取らなかった）」と書いた。

微妙な問題に触れる 意見の分かれるデリケートな問題について、片側からの意見を述べる。

例：有名人が、天皇家の跡継ぎ問題について書いた。
例：スポーツ選手が、判定に疑惑のあるボクシング試合の勝者に対して「おめでとう」と書いた。

嘘ややらせがばれる 嘘を書く。お金をもらって記事を書いているのに、そのことを隠す。

例：有名ブロガーの記事に嘘が多いことが発覚した。
例：企業の社員が、無関係のふりをして、自社製品の宣伝ブログをつくっていた。

誤解を受ける発言 本人に悪気はないが、誤解を受ける発言やきわどい発言をする。

例：アイドルが、ある殺人事件について「犯人は被害者の父親だと思う」と書いた。
例：お笑い芸人が、覚醒剤でつかまったタレントを擁護するような文章を掲載した。

嫌がらせ・悪意 本人に落ち度はないのに、逆恨みした人や悪意ある他人が荒らす。

例：女優が、ある役を演じたいと書いたら、原作のファンから批判された。
例：お笑い芸人が、ある殺人事件に関わっていたと事実無根の噂を広められた。



炎上してしまった時の対処法 5箇条

その1 「批判に目を通し、炎上の原因を究明する」

ブログが炎上するのは、本人の書いた内容に問題があるケースが多いので、まずはその批判にきちんと目を通す。批判的なコメントの中にはただの誹謗中傷もあるが、本人のためを思っている苦言もある。本人が直接読むのが辛い場合は、他人に目を通してもらい、柔らかい表現でその内容を伝えてもらうのがよい。

その2 「訂正・削除をおこなう」

自分の記事に問題があるとわかった場合、これ以上人目に触れないように、対象記事はすぐに削除もしくは訂正する。（謝罪を伴わなければ、削除行為が「逃亡」と非難されることもある。）記事自体を削除しても、一度アップロードされた文章はネット上のどこかにデータが残っている可能性が高いので、完全に痕跡を消すことは困難であることも忘れてはいけない。

その3 「迅速に謝罪する。弁解はしない」

謝罪は即おこなった方がよい。過去には、炎上に際して素直に謝ったタレントに応援メッセージが殺到し、好感度が急上昇した例もあった。謝罪する際には、弁解はできるだけしない方がよい。下手に弁解したり、反論の文章を載せてしまうと「燃料投下」となり、さらに激しく炎上する恐れがある。

その4 「周囲に配慮する」

ブログに個人情報を載せている場合、学校やバイト先などにも非難の電話（電凸）がかかることがある。個人情報とそれに結びつきそうな情報は最初から出さないのが一番だが、もう出してしまう場合は、炎上しはじめた段階ですべて削除する。※「その2」でも指摘したように、元の情報を消しても、ネットのキャッシュやアーカイブから再構築される可能性はある。炎上が大規模になると相互リンクしているブログにも飛び火することがあるため、相互リンクは外す。

その5 「自分のブログについて見つめ直す」

炎上したブログはほかの記事も徹底的に読み込まれるので、ほかにも批判の対象となりそうなきわどい記事があったら削除・訂正しておく。しばらく様子を見ても炎上がおさまらない場合は、コメント機能の停止、ブログ自体の移転もしくは閉鎖などを検討する。